

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 11 月 19 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・11/18 22:47 淡水化装置(逆浸透膜型)2のNo.2ユニット内にある高圧ポンプとブースターポンプが自動停止し、当該ユニットによる処理が停止。なお、現場で水漏れは発生しておらず、現在、原因を調査中。淡水の供給量に影響はなく、当面は淡水化装置(逆浸透膜型)2のNo.1のみで運転予定。なお、淡水化した処理水は十分にあり、原子炉への注水への影響はない。

[貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物]	・11/10 9:10～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・11/15 9:25～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋	仮設タンク	・11/19 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (11/19 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位:O.P.+ 1,626 mm(水位上昇累計:2,843 mm) 11/18 7:00 から 47 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位:O.P.+ 1,944 mm(水位上昇累計:2,670 mm) 11/18 7:00 から 43 mm 下降

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (11/19 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.+ 850 mm (11/18 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,654 mm (11/18 7:00 から 37 mm 上昇)	O.P.+ 4,444 mm (11/18 7:00 から 45 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,093 mm (11/18 7:00 から 11 mm 下降)	O.P.+ 3,101 mm (11/18 7:00 から 12 mm 下降)	O.P.+ 3,208 mm (11/18 7:00 から 8 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,271 mm (11/18 7:00 から 10 mm 下降)	O.P.+ 3,037 mm (11/18 7:00 から 14 mm 下降)	O.P.+ 3,242 mm (11/17 7:00 から 27 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 3,056 mm (11/18 7:00 から 8 mm 下降)	O.P.+ 3,076 mm (11/18 7:00 から 6 mm 上昇)

11/18 7:00 の値がカメラ不調によるデータ未採取のため、11/17 7:00 の値との比較

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値) 10/24 採取分より、放射能濃度の検出限界値を下げる取り組みを開始。

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	11/18	8:40	ND	0.05	0.05
福島第二 3,4号機放水口付近	11/18	8:25	ND	0.02	0.01

・その他、11/18 に採取した福島県沿岸2地点における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)については全てND。

< 使用済燃料プールの冷却 > (11/19 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	18.0
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	19.7
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	20.3
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	28

[2号機]・11/6～ 使用済燃料プール放射性物質除去装置の運転を開始。

[3号機]・11/18 23:00 過ぎ 3号機使用済燃料プール代替冷却設備の熱交換器出口の冷却水温度が上昇傾向であることを確認(11/18 20:00 約 16.5 11/18 23:00 約 17.3)。緩やかな温度上昇であり、直ちに使用済燃料プールの冷却に影響がないことから、翌日、現地調査を実施することとした。

11/19 7:00 過ぎ 現地調査の結果、散水用の元弁が閉まっていることを確認。開操作を実施後、熱交換機出口温度の低下を確認(11/19 5:00 約 19.5 11/19 8:00 約 17.9)。このことから温度上昇の原因は、元弁が閉まっていたことによるものと判明。元弁が閉まっていた原因については今後調査予定。

その後、3号機使用済燃料プール水温度が再度上昇傾向を確認。現場を確認したところ、散水はされているものの、散水槽のこし網に詰まりの傾向を発見。

11/19 16:11～16:50 3号機使用済燃料プール2次系冷却塔をA系からB系に切り替え実施。現在、温度傾向を観察中。

[6号機]・11/15～ 取水路ポンプ室底部に堆積した砂等の吸い込みによるポンプ性能低下の防止を目的とした清掃作業に伴い、6号機残留熱除去系(A)ポンプを停止し、原子炉の冷却を停止。6号機補機冷却海水系(A)ポンプを停止し、使用済燃料プールの冷却を停止。なお、冷却停止予定時間は毎日7:00～17:00頃で、1日あたりの6号機原子炉水温度の上昇は約12、使用済燃料プール水温度の上昇は約3の見込み(作業期間は1週間程度を予定)。

< 原子炉圧力容器への注入・原子炉の状況 > (11/19 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約5.4 m ³ /h)	37.0	37.6	117.8 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約3.0 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約7.0 m ³ /h)	65.1	68.0	111 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.4 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約8.1 m ³ /h)	57.9	67.2	101.5 kPaabs

[1号機]・11/18 16:10 1号機非常用高台炉注水ポンプ吸込み側の耐圧ホースの接続部から、水漏れが発生していることを当社社員が確認。漏れは3秒に1滴程度の滴下であり、受け皿で受けている状態。今後、ホースの交換を実施予定。

なお、本事象は現在運転していない非常用炉注ポンプからの水漏れであるため、炉注水への影響はなく、非常用炉注ポンプは3台設置されており、当該号機を除いても運用可能。

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

< その他 >

・10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

・11/17 13:50～16:20 3号機原子炉建屋1階の原子炉格納容器ガス管理システム設置工事に向けて、ロボットによる北東部機器ハッチレール溝内の水拭き取り、線量調査を予定し入域したが、ロボット1台のアームの不調により、作業未実施。

11/18 15:50～18:40 ロボットのアームを確認後、ロボット2台にて北東部機器ハッチレール溝内の水拭き取りを実施。

11/19 14:00頃～ ロボット2台にて北東部機器ハッチレール溝内の水拭き取りを実施し、水拭き取り完了後、線量調査を実施予定。

以上